

領内出張所 だより

第78号

平成28年11月15日

TEL 77-2001

E-mail ryonai@odaitown.jp



《第6回秋まつり》今年も晴天に恵まれ開催することができました

開会式は晴天の下「清流太鼓」「昴学園高校太鼓部」の演奏が青空に響きました。

会場には、実行委員会による200人鍋、子供ゲーム、唐櫃地区・大井地区からの参加もあり大いに盛り上げて頂きました。

体育館では、ゲームで盛り上がり、日頃の疲れを癒す「ボディメイキング」で身体をほぐしました。

展示の部として、宮川保育園から「運動まつりのようす」、小学校からは「牛の絵、習字、新聞(水の学習)、自画像」、中学校から「修学旅行、ステンドグラス、職業体験新聞」を紹介いたしました。

また、一般の方からも日ごろの趣味、楽しみで作られた作品の数々を展示して頂きました。

今年も参加の奥伊勢消防署宮川出張所からは、「スモークマシーン体験」「消防車・救急車」等で身近な消防士さんとふれあうことができました。

日本の暦生活

六曜・月齢・旧暦カレンダー 等より

暦のなかの「和風月名」、11月霜月（しもつき）を照会します。

11月7日（平成28年度）に立冬を向かえ、冬がはじまる季節の大きな節目、各地域から雪の便りが届き始めます。

「秋の日は釣瓶（つるべ）落とし」と呼ばれるくらい急速に暗くなるのが早くなります。

11月「秋の最終月」であるのに、霜月といわれると「真冬のイメージ」ですが……

■霜月（しもつき）

「霜月」と呼ばれる由来？

有名な「10月の神無月」と「12月の師走」の「間」の霜月と呼ばれる11月。

（あまり存在感がない!!!）

実は旧暦では10月、11月、12月を「冬」、旧暦で平成28年11月23日が「冬至」です。

11月は「霜が降り出す月」の意味と、前の月と繋がっていて10月の神無月を「上の月」、11月の霜月が「下な月」。「しもつき」となったとも言われているようです。

■立冬（11月7日）

立冬（りっとう）は、朝夕の冷え込みと日中の日差しが弱まって来て、冬が近いことを感じさせる頃、木枯らし1号や、初雪の便りも届き始める頃でこの日から立春までが冬とされています。

■小雪（11月22日）

小雪（しょうせつ）は、だんだんと寒さが増して露が冷たい空気と接し霜に変わる直前で、紅葉が濃くなり、燕などの夏鳥と雁などの冬鳥が交替する時期でもあります。

■大雪（12月7日）

山岳だけでなく、平野にも降雪のある時節ということから大雪といわれたものでしょう。

この頃になると九州地方でも初氷が張り、全国的に「冬一色」になります。

新しい年の準備をはじめる「正月事初め」もこの時期から行われます。

紅葉を鑑賞する習慣は、奈良時代から始まったといわれ、「万葉集」に登場し江戸時代に定着したようです。

風花（かざはな）……冬の晴天の中をハラハラと舞うように降る雪のこと。本格的な冬の前触れとされています。

空を見ると寒空がひろがり、暖かい陽だまりが恋しい時季。

この季節の美味しい物を楽しみ、冬の山々の美しさ紅葉を楽しみたいですね。

山々のもみじやイチョウが美しく色づいて冬の準備がはじまって来ました。



奥伊勢消防 宮川出張所の活動の紹介です。

当紀勢地区広域消防組合の管轄する地域は、自然豊かな地域であり数多くの山々が存在します。

管内でもある大台ヶ原・大峯山・大杉谷が今年、ユネスコパーク拡張登録され「自然と人間社会の共存」ができるモデル地域でもあります。

その他、管内には多くの登山箇所もあり、登山者が入山しております。

そのため、万が一山中で事故が起きた場合、迅速な対応ができるよう、登山道調査を行っています。10月にも管内である大杉谷登山道整備、総門山、古ヶ丸山の登山道の無線感度、危険箇所など調査しました。
(活動のようす)



お知らせとおねがい

広域消防宮川出張所が、12月から1月末までにかけて、75歳以上の一人暮らしでお住まいのお宅におじゃまします。

調査にお伺いする時、救急車でお伺い致します。お宅への出向かう道の確認もかねています。

現在、調査の準備を行っており、役場、警察、消防の連携を図り、担当者会議を行っております。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願い致します。



11月6日「領内秋まつり」でのふれあい写真です。「ちびっ子消防士」「AED操作」の体験もあり、参加した方も多数ありました。

《絵手紙教室へのおさそい》

お友達や、家族へ手紙に絵と言う思いを届けませんか。
毎月一回絵手紙愛好家が集り、教室を開催しています。
見学だけでもかまいません。
絵はがきは、誕生日カードとして領内地域の方に届けています。初めての方大歓迎です。

12月の教室

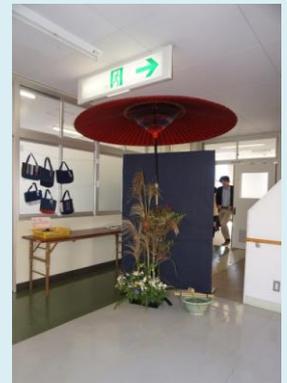
日時 12月6日 第1火曜日
午後1時30分～3時まで
場所 領内地域総合センター
電話 77-2001

11月6日(日)

領内秋まつりの
作品です。



今年も、地元「昴学園高校」の生徒の皆さんの参加があり、秋まつりを盛り上げてくれました。



「領内秋まつり」に参加してくれる生徒が年々増えて、まつりを活気づけてくれます。
それぞれにブースで活躍です。
地域をまとめてくれました。とても頼もしいです。



あとがき

11月6日に秋まつりが盛大に終わり「やれやれ終わった!!」と少し安心しました。

朝出勤途中、周りの山々を見る余裕も出てきました。

黄色に色づいたイチヨウの葉はとても美しいです。

夏季が長く感じられただけに、秋は短く感じました。

季節の言葉で「冬日和」と言う言葉があります。

山々を見てみるとこの言葉がぴつたりの「冬の日」を感じます。

11月半ば、寒かったり暖かったりを繰り返して1年の終わりの準備が始まりますね。

過日、秋の良く晴れた日にいつもよりも丁寧に掃除をして、自分では「正月事の準備」をしたのかな？

さあ、1年の終わりを締めくくる「12月のたより」

の記事探します。

皆さんも面白い記事を投稿下さい

(木下)

